

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	人生最期を支える看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	8 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	木下 富貴子	実務経験と その関連資格	緩和ケア病棟に20年以上勤務。緩和ケア認定看護師			
《授業科目における学習内容》						
講義と事例を用いたグループワークで緩和ケアにおける症状マネジメントの方法を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
終講試験を実施。6割以上の正答。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 別巻 緩和ケア及び講師作成資料						
《授業外における学習方法》						
配布資料または参考図書の該当箇所を読む						
《履修に当たっての留意点》						
配布資料をよく読み、グループワークでは積極的に参加すること						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を 通じての 到達目標	終末期がん患者の食欲不振のケアについて理解できる		PC、プロジェク ター、マイク、ス ピーカー		
	各コマに おける 授業予定	提示した事例についてアセスメントの方法、ケアの視点について講義し、グループワークで具体的なケアを考える。最後に考え方の例を示す。				
第2回	授業を 通じての 到達目標	QOLをトータルペインの視点でアセスメントできる。呼吸困難、せん妄を緩和するケアが理解できる。		PC、プロジェク ター、マイク、ス ピーカー		
	各コマに おける 授業予定	提示した事例についてアセスメントの方法、ケアの視点について講義し、グループワークで具体的なケアを考える。最後に考え方の例を示す。				
第3回	授業を 通じての 到達目標	臨死期にある患者とその家族のケアが理解できる。予期悲嘆とその対処法について分かる。		PC、プロジェク ター、マイク、ス ピーカー		
	各コマに おける 授業予定	提示した事例についてアセスメントの方法、ケアの視点について講義し、グループワークで具体的なケアを考える。最後に考え方の例を示す。				
第4回	授業を 通じての 到達目標	喪失・悲嘆・死別とは何かについて分かる 看護師が自分自身の喪失や悲嘆に対処するための方法が分かる		PC、プロジェク ター、マイク、ス ピーカー、DVD		
	各コマに おける 授業予定	喪失・悲嘆・死別について、自分自身の喪失や悲嘆への対処法について講義。DVDを視聴し、死について考える。				
第5回	授業を 通じての 到達目標					
	各コマに おける 授業予定					